

2011年

21世紀高野山医療フォーラム

～ 生と死が手を結ぶには ～

理事長ごあいさつ

東日本大震災は、私たちの生き方や死生観から国のあり方に至るまで、根本から問い直さざるを得ないほど大きな影響を与えています。このようななかで、医療と宗教が手を結び、人々を病苦と死への不安から解放する道を探ってきたこの21世紀高野山医療フォーラムの役割と意味は、いよいよ大きいと認識しています。そこで第8回を迎えた今年のフォーラムでは、人間と地域社会と国の再生の源泉となる「絆」をテーマに選び、生と死に関する普遍的な課題と苦難の真只中におられる被災者の救済に関する課題の両面から、プログラムを構成しました。参加者の方々が、この大変な危機の時代に、生と死の問題について思索を深める場となることを期待するものです。

21世紀高野山医療フォーラム理事長・作家 柳田邦男